

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
2021 年度 事業報告
(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2021 年度については、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、一定の制限や影響を受けたものの、事業を通じて「安全で安心できる社会づくり」に貢献するという当財団の目的に沿って、安心や安全に十分に配慮し、感染状況や感染リスクに応じた措置を講じながら、2021 年度事業計画に掲げた各事業を着実かつ効果的・効率的に推進した。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) 「いのちのセミナー」の開催

コロナ禍において「いのち」の重要性が増す中、引き続き、多様な観点から「いのち」を取り上げ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的に、「いのちのセミナー」を 5 回開催した。なお、感染状況等に鑑み、会場開催は見送り、全てウェブ方式にて行った。

<第 1 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：21,510 回

配信期間：2021 年 6 月 21 日(月)～9 月 30 日(木)
講 師：佐々木 慈瞳 氏 (公認心理師、僧侶)
演 題：いのちのゆくえ ～自分らしさを生きる～

<第 2 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 (手話通訳) ※ 視聴回数：753 回

配信期間：2021 年 9 月 14 日(火)～9 月 21 日(火)
講 師：東 ちづる 氏 (俳優、一般社団法人 Get in touch 代表)
演 題：Let's まぜこぜ ～浅く広くゆるくつながろう～

<第 3 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,027 回

配信期間：2021 年 9 月 21 日(火)～2022 年 1 月 4 日(火)
講 師：安田 登 氏 (能楽師 ワキ方 下掛宝生流)
演 題：「残念」の声を聴く ～能と日本人の死生観～

<第 4 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,010 回

配信期間：2021 年 12 月 23 日(木)～2022 年 4 月 4 日(月)
講 師：西岡 秀爾 氏 (曹洞宗僧侶)
演 題：中道で道中を歩む ～禅に学ぶ生き方～

<第 5 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信

日 時：2022 年 3 月 25 日(金)～2022 年 6 月 30 日(木) (予定)
講 師：高橋 聡美 氏 (中央大学人文科研究所客員研究員・一般社団法人 高橋聡美研究室 代表)
演 題：折れる心の守り方 ～生きづらさに寄り添うために～

(2) 「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の開催

作文を通じて「いのち」の大切さを考える機会を提供するとともに、優れた作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切にできる「安全で安心できる社会」の風土づくりに繋げていくことを目的として、通算3回目となる作文コンクールを以下のとおり実施した。

<実施概要>

テ ー マ	あなたにとっての「いのち」
募 集 期 間	2021年7月1日(木)～9月9日(木)
募 集 対 象	近畿2府4県(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)に在住・在学の小・中学生
選 考 委 員	委員長…重松 清氏(作家) 副委員長…菊池 省三氏(教育実践研究家)
応 募 状 況	9,012人
表 彰	大賞(4人)、優秀賞・選考委員長賞(5人)、優秀賞(21人)、入選(70人)
表 彰 式	2021年12月19日(日) 14:00～15:30 毎日新聞オーバルホール ※新型コロナ感染拡大防止策を講じ、優秀賞以上30名を対象に開催
作 品 集	2022年2月に17千部発行、財団HPでも公開

(3) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成(上智大学グリーフケア研究所人材養成講座)

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材を養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を継続的に行っている。

2021年度は、「グリーフケア人材養成課程(大阪・2年制)」に37名が入学し、うち34名が2年次に進級、2020年度に入学した2年次生の32名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会の「臨床スピリチュアルケア師」の資格取得を目指す「資格認定課程(1年制)」には7名が入学し、2020年度にコロナ禍で実習ができず未修了となっていた11名も含め、全員が同課程を修了した。

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催

東日本大震災から10年を踏まえ、近年、激甚化する自然災害に加え、関西地区でも南海トラフの巨大津波や直下型地震が想定される中、どのようにして地域社会や個人の対応力を高めていくのか、市民・地域社会への啓発活動として以下のセミナーを開催した。なお、感染状況等に鑑み、会場開催は見送り、ウェブ方式(ライブ配信)にて行った。

<開催概要>

開 催 日	2021年10月16日(土) 14:00～15:45
講 師	片田 敏孝氏(東京大学大学院情報学環特任教授、日本災害情報学会会長) 畦地 和也氏(高知県黒潮町教育長)
演 題	東日本大震災発災10年 これからの関西における防災のあり方を考える
応 募 者 数	333名(うち、当日視聴者数は147名) ※応募者全員を対象にアーカイブ動画配信(10/20～10/26、視聴者数126名)

(2) 「救急フェスタ」の開催中止

例年、救命措置の普及啓発を目的に開催している「救急フェスタ」は、コロナ禍において、密集・密接状態が不可避であり、代替手段もないことから、昨年度に続いて開催を見送った。

(3) AED訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

① 2022年度AED訓練器等の助成（募集、審査、決定）

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、以下の通りAED訓練器・訓練人形を助成した。

	株式会社	学校	NPO法人	その他	計
応募件数(セツ)	1(3)	-(一)	-(一)	10(29)	11(32)
助成件数(セツ)	1(1)	-(一)	-(一)	7(15)	8(16)

② 2021年度AED訓練器等助成事業活動成果報告会

助成期間（3年）終了団体との関係維持や団体同士の交流深度化による活動の活性化などを目的として、3年振り2回目となる活動成果報告会を以下のとおり開催した。

なお、開催に当たって、各政府機関・大阪府・業界団体の指針・ガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止のために必要な措置を講じた。

<開催概要>

開催日時：2021年10月24日(日) 14:00～16:45
場 所：グランフロント大阪 タワーB カンファレンスルーム 10階
発 表 者：2団体
参 加 者：約40名（発表者、傍聴者、当財団役員・委員等）
そ の 他：卒業団体7団体へ感謝状・記念品の贈呈
石見 拓 氏（京都大学 環境安全保健機構教授）による救命処置に関する講演
各団体及びAED訓練器等助成事業審査委員会委員との意見交換会

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) いのちの電話（近畿ブロック7団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿2府4県の7団体に対して助成を行った。

また、昨年度に続いて、いのちの電話（近畿ブロック7団体）において、団体間の連携強化を図るために実施している「いのちの電話近畿ブロック合同研修会」に対しても助成を行った。

(2) 関西遺族会ネットワーク交流会への助成

京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会の開催に対し、助成を行った。

4. 公募助成事業

(1) 2020年度公募助成（活動及び研究）期間延長の特例措置の実施

2020年度の公募助成については、計画想定時点では想定しえない新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、活動や研究を中止や延期せざるを得ない事例が多く生じたことから、当財団で妥当と認めた32の団体及び研究者に対し、2021年9月5日まで助成期間を延長可能とする特例措置を行った。

(2) 2022 年度公募助成（活動及び研究）の実施（募集、審査、決定）

当財団では、設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。今年度は、研究助成について、その成果の質的向上のほか、社会において活用されることを促すことを目的に複数年(2年)助成制度を新たに設定し、2022年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について、公募を実施した。応募のあった110件について審査した結果、52件、3,486万円の助成を行った。採択率(件数)については47%となった。

<応募・助成状況>

	応募件数	助成件数	金額
活動助成	44件	24件	1,127万円
活動助成(特別枠)	25件	15件	722万円
研究助成※	41件	13件	1,637万円
計	110件	52件	3,486万円

※研究助成のうち、複数年(2年)助成は、助成件数6件、金額671万円(2年目661万円)

(3) 第11回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2020年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を以下のとおり開催した。

<開催概要>

開催日時：2022年1月28日(金) 13:30~16:00

会場：オンライン開催(Zoom)

発表者：6団体(うち特別枠3団体(東日本大震災支援1、西日本豪雨(広島・岡山)支援各1))
研究者2名

参加者数：60名(発表者、傍聴者、当財団役員・委員等)

II 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：1回（書面開催）

決議事項等：2020年度計算書類等の承認、評議員の選任、理事の選任、監事の選任

(2) 理事会

開催回数：4回（うち、書面開催1回）

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

[第1回 2021年5月26日]

2020年度事業報告及び計算書類等の承認、事業審査評価委員会委員の選任、AED訓練器等助成事業審査委員会委員の選任、評議員会の招集

[第2回 2021年6月16日 ※書面]

代表理事（理事長）及び業務執行理事の選定並びに常務理事の選定

[第3回 2021年12月6日]

2021年度収支予算の変更の承認、個人情報保護規程の改正の承認、プライバシーポリシーの制定の承認

[第4回 2022年3月4日]

2022年度公募助成（活動及び研究）の採択決定の承認、2022年度「上智学院、いのちの電話」への助成の承認、2022年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、2022年度基本財産の運用基本方針の承認、2022年度事業計画及び収支予算の承認、2023年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、2023年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：5回（うち、書面開催1回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2021年5月17日]

2020年度助成事業の実績・成果等の確認・評価、2020年事業報告(案)、2022年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2021年7月5日 ※書面]

事業審査評価委員会委員長の選定

[第3回 2021年10月22日]

2020年度助成事業の実績・成果等の確認・評価(期間延長申請32件)

[第4回 2021年12月24日]

2022年度公募助成(活動及び研究)の審査、公募助成(活動/特別枠)の設定期間

[第5回 2022年2月9日]

2022年度公募助成(活動及び研究)の審査、公募助成(活動/特別枠)の設定期間、2022年度助成先の審査、2022年度事業計画(案)に対する指導・助言

(4) A E D訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2021年5月13日]

2020年度A E D訓練器等助成事業における実績・成果等の確認・評価、2022年度A E D訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2022年1月7日]

2022年度A E D訓練器等助成事業の審査

2. その他

(1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

(2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行うとともに、公募助成やA E D訓練器等助成で当財団が助成を行っている団体の取り組みを紹介した。また、事業実施時におけるプレス発表、J R主要駅へのポスター・パンフレット・心肺蘇生法副読本（日本A E D財団が作成し小学校に配布）の掲出、財団紹介用パンフレットの制作・配布、広報誌「R e l i e f」の発行（2021年4月、11月）、SNS（F a c e b o o k）を活用した情報発信（通年）に加え、「いのちの作文コンクール」の実施にあたっては、学校への広報を行ったほか、作品集を製作し、参加校並びに地域の図書館等へ配布するなど、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(3) 報道実績

- ・「いのち」の作文コンクール作品募集 … 大阪日日新聞（7/7）
- ・「2022年度公募助成（特別枠）」募集 … 山陽新聞（10/1）
- ・「2022年度公募助成先」決定 … 大阪日日新聞（3/18）
- ・「2022年度A E D訓練器等助成先」決定 … 大阪日日新聞（3/27）